

連結財務諸表(要旨)

四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期 連結累計期間 2016年4月1日～ 2016年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 2017年4月1日～ 2017年9月30日
営業収益 Point ①	706,689	729,802
営業原価	662,442	717,675
営業総利益	44,247	12,126
販売費及び一般管理費	23,303	25,014
営業利益又は営業損失(△) Point ②	20,943	△12,887
営業外収益	1,113	1,279
営業外費用	1,140	992
経常利益又は経常損失(△)	20,916	△12,600
特別利益	228	141
特別損失	950	1,010
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	20,193	△13,469
法人税等	8,514	△1,537
四半期純利益又は四半期純損失(△)	11,679	△11,931
非支配株主に帰属する四半期純利益	124	155
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△) .. Point ③	11,554	△12,087

ポイント解説

Point ①

デリバリー事業においては通販市場の拡大等を背景とした宅急便取扱数量の増加基調が継続し、ノンデリバリー事業においても既存サービスが概ね好調に推移したことにより営業収益は前年同期に比べ3.3%増加し、7,298億2百万円となりました。

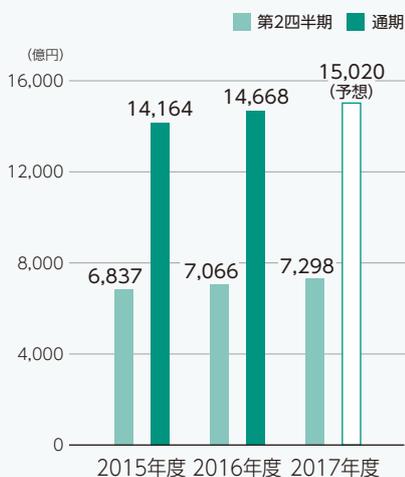
Point ②

営業利益はデリバリー事業のサービス品質を維持するための外部戦力を含めた人的コストの増加などが利益を圧迫し、128億87百万円の損失となりました。

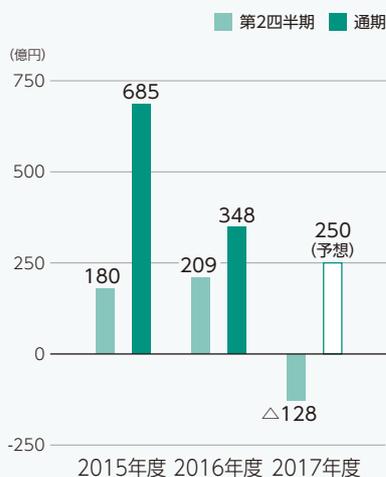
Point ③

親会社株主に帰属する四半期純利益は、120億87百万円の損失となりました。

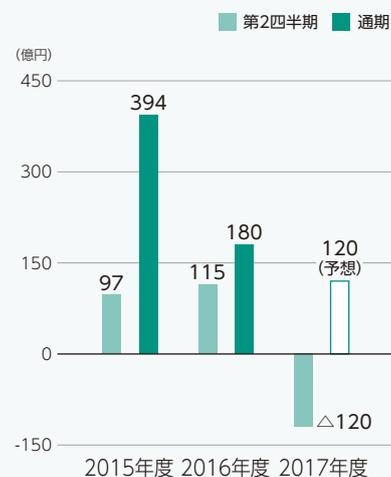
営業収益



営業利益(損失)



親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益(損失)



四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結 会計年度 2017年3月31日	当第2四半期 連結会計期間 2017年9月30日
[資産の部]		
流動資産	586,510	543,178
固定資産	528,162	529,416
有形固定資産	405,070	403,552
無形固定資産	21,671	19,791
投資その他の資産	101,420	106,072
資産合計 Point ①	1,114,672	1,072,594
[負債の部]		
流動負債	371,848	350,679
固定負債	197,264	191,146
負債合計 Point ②	569,113	541,825
[純資産の部]		
株主資本	534,241	516,629
その他の包括利益累計額	4,938	7,376
非支配株主持分	6,379	6,762
純資産合計 Point ③	545,559	530,769
負債純資産合計	1,114,672	1,072,594

ポイント解説

Point ①

現金及び預金が549億94百万円減少したことなどにより、総資産は前連結会計年度に比べ420億77百万円減少し、1兆725億94百万円となりました。

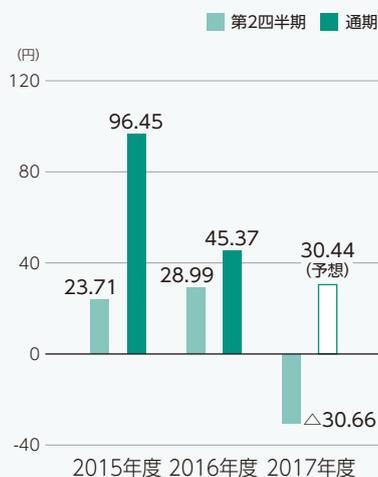
Point ②

借入金が158億84百万円、および特別給付資金引当金が151億29百万円減少したことなどにより、負債は前連結会計年度に比べ272億87百万円減少し、5,418億25百万円となりました。

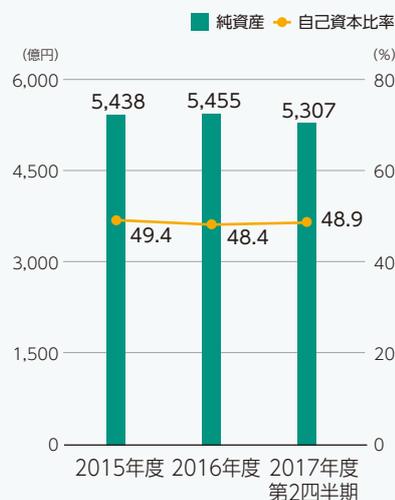
Point ③

親会社株主に帰属する四半期純損失が120億87百万円となったこと、および剰余金の配当を55億19百万円実施したことなどにより、純資産は前連結会計年度に比べ147億90百万円減少し、5,307億69百万円となりました。

1株当たり四半期(当期) 純利益(損失)



純資産/自己資本比率



中間配当の支払につきまして

- ・中間配当金
1株につき13円
- ・効力発生日
ならびに支払開始日
2017年12月8日(金)

中間配当金お支払い関係書類は12月7日(木)に発送いたしました。

連結財務諸表(要旨)

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期 連結累計期間 2016年4月1日～ 2016年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 2017年4月1日～ 2017年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー Point 1	25,611	△11,278
投資活動によるキャッシュ・フロー Point 2	△38,699	△21,531
財務活動によるキャッシュ・フロー Point 3	△9,572	△22,800
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,834	△48
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△25,495	△55,658
現金及び現金同等物の期首残高	249,261	228,926
現金及び現金同等物の四半期末残高	223,766	173,268

より詳細な連結財務諸表につきましては、
ホームページ(<http://www.yamato-hd.co.jp/>)をご覧ください。

ヤマトホールディングス 財務

ポイント解説

Point 1

税金等調整前四半期純損失が134億69百万円となり収支が減少したことなどにより、営業活動によるキャッシュ・フローは前年同期に比べ収支が368億89百万円減少し、112億78百万円の支出となりました。

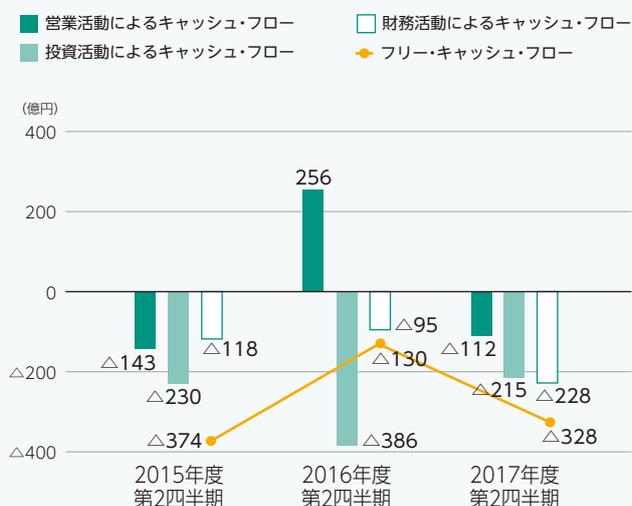
Point 2

投資有価証券の取得による支出が減少したことなどにより、投資活動によるキャッシュ・フローは前年同期に比べ支出が171億68百万円減少し、215億31百万円の支出となりました。

Point 3

借入金の収支による支出が増加したことなどにより、財務活動によるキャッシュ・フローは前年同期に比べ支出が132億27百万円増加し、228億円の支出となりました。

キャッシュ・フロー



用語解説

キャッシュ・フローについて

○営業活動によるキャッシュ・フロー

企業が営業活動から獲得したキャッシュから仕入れや事業活動に必要な諸費用を差し引いて、本来の営業活動から得られた金額を示します。

○投資活動によるキャッシュ・フロー

企業が営業活動を維持拡大するための設備投資や資産の売却、資金の貸し付けや回収など、会社の将来を考えた諸活動にどの程度の額を回したのかを示します。

○財務活動によるキャッシュ・フロー

営業活動および投資活動を維持するためにどの程度の資金調達をしたのか、もしくは余剰資金がある場合はそのうちの程度の額を借入金等の返済に回したのかを示します。